

2008年3月期 中間決算概要

2008年3月期 中間決算説明会

2007年11月7日

日本ユニシス株式会社
代表取締役専務執行役員

白鳥 恵治

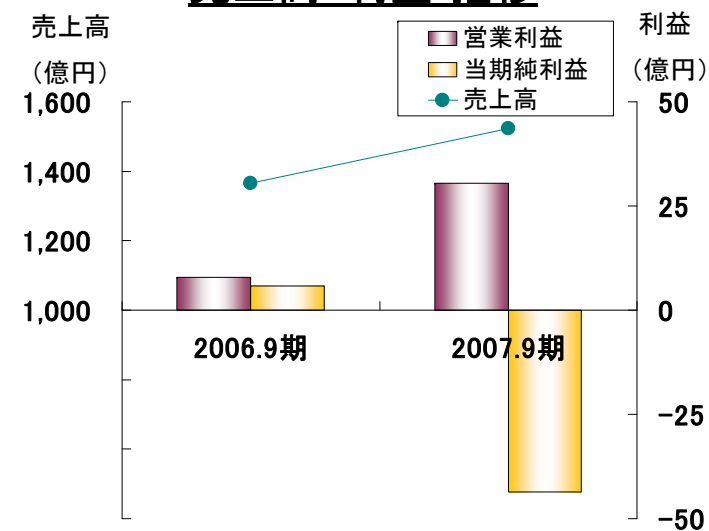
連結決算ハイライト

(百万円)

	2006.9期	2007.9期	増減額	増減率
売上高	136,526	152,359	+15,833	+11.6%
営業利益	795	3,051	+2,255	+283.6%
経常利益	1,116	3,102	+1,986	+177.9%
当期純利益	574	▲4,362	▲4,937	—

- 売上高についてはネットマークスの新規連結もあり前期比158億円の増収
- 利益面に関しては商標等使用料の負担減が寄与したことにより営業利益は23億円の増益
- 特別損失として「のれん償却額」を59億円計上したことにより、当期純利益は▲44億円の損失

売上高・利益 推移



売上高の状況

● 売上区分別 売上高

(百万円)

売 上 区 分		2006.9期	2007.9期	増減額	増減率
サービス		86,608	109,120	+22,511	+26.0%
	システムサービス	37,761	39,999	+2,237	+5.9%
	サポートサービス	28,204	28,278	+74	+0.3%
	アウトソーシング	12,169	13,126	+957	+7.9%
	ネットマークス サービス	—	19,789	+19,789	—
	その他サービス	8,473	7,926	▲546	▲6.5%
ソフトウェア		19,185	16,961	▲2,224	▲11.6%
ハードウェア		30,732	26,278	▲4,453	▲14.5%
	販売	24,320	20,408	▲3,912	▲16.1%
	賃貸	6,411	5,869	▲541	▲8.5%
合 計		136,526	152,359	+15,833	+11.6%

損益の状況

● 利益区分別 損益

(百万円)

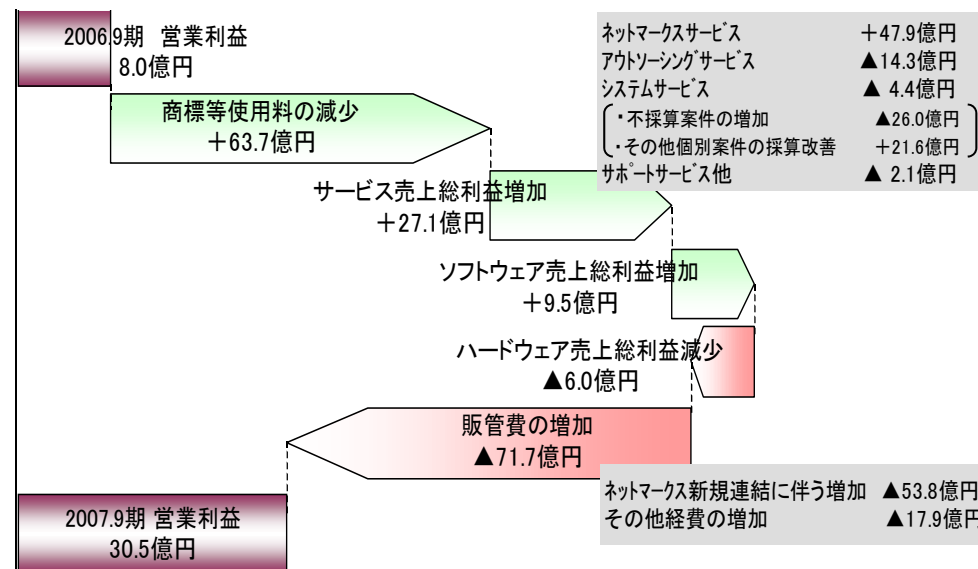
	2006.9期	2007.9期	増減額	増減率
売上総利益	27,257	36,685	+9,428	+34.6%
販管費	26,462	33,634	+7,172	+27.1%
営業利益	795	3,051	+2,255	+283.6%
経常利益	1,116	3,102	+1,986	+177.9%
特別損益	▲254	▲6,014	▲5,759	—
当期純利益	574	▲4,362	▲4,937	—

● 売上総利益比較

(百万円)

売上区分	2006.9期	2007.9期	増減額
サービス	20,755	23,466	+2,710
ソフトウェア	4,993	5,943	+950
ハードウェア	7,874	7,275	▲599
商標等使用料	▲6,366	—	+6,366
合計	27,257	36,685	+9,428

2007.9期 営業利益分解



キャッシュフロー、バランスシート状況

● キャッシュフローの状況 (百万円)

	2006.9期	2007.9期	増減額
営業 C F	▲5,735	3,917	+9,652
投資 C F	▲19,511	▲17,889	+1,622
F C F	▲25,247	▲13,971	+11,275

■フリーキャッシュフロー
 ・ネットマークスの株式取得 ▲96億円
 ・アウトソーシングビジネスにおける先行投資 ▲39億円

● バランスシートの状況 (百万円)

	2006.9期	2007.9期	増減額
総資産	234,438	254,388	+19,950
負債	150,665	173,191	+22,525
純資産	83,772	81,197	▲2,574

■総資産／負債
 ネットマークスの新規連結により
 総資産・負債ともに増加

(百万円)

	2006.9期	2007.9期	増減額
有利子負債	83,435	105,042	+21,607
(純有利子負債)	(56,534)	(81,185)	(+24,651)

■有利子負債
 上記CF、資金需要に対応するため
 長短借入金にて調達

2008年3月期 連結業績見通し

● 現時点の業績見通し

(百万円)

	2007.3期	2008.3期予	増減額	増減率
売上高	307,455	366,800	+59,344	+19.3%
売上総利益	63,196	88,900	+25,703	+40.7%
販管費	56,917	69,500	+12,582	+22.1%
営業利益	6,278	19,400	+13,121	+209.0%
経常利益	6,646	18,700	+12,053	+181.4%
当期純利益	3,433	3,300	▲133	▲3.9%

- 売上高は、引き続き採算を重視した選別受注を行うものの、システムサービスの伸びが牽引し、19.3%の増収となる見込み
- 営業利益は、商標等使用料の減少(127億円)が寄与し、大幅に改善の見込み
- 当期純利益に関しては、前期に比べ若干減少する見込み

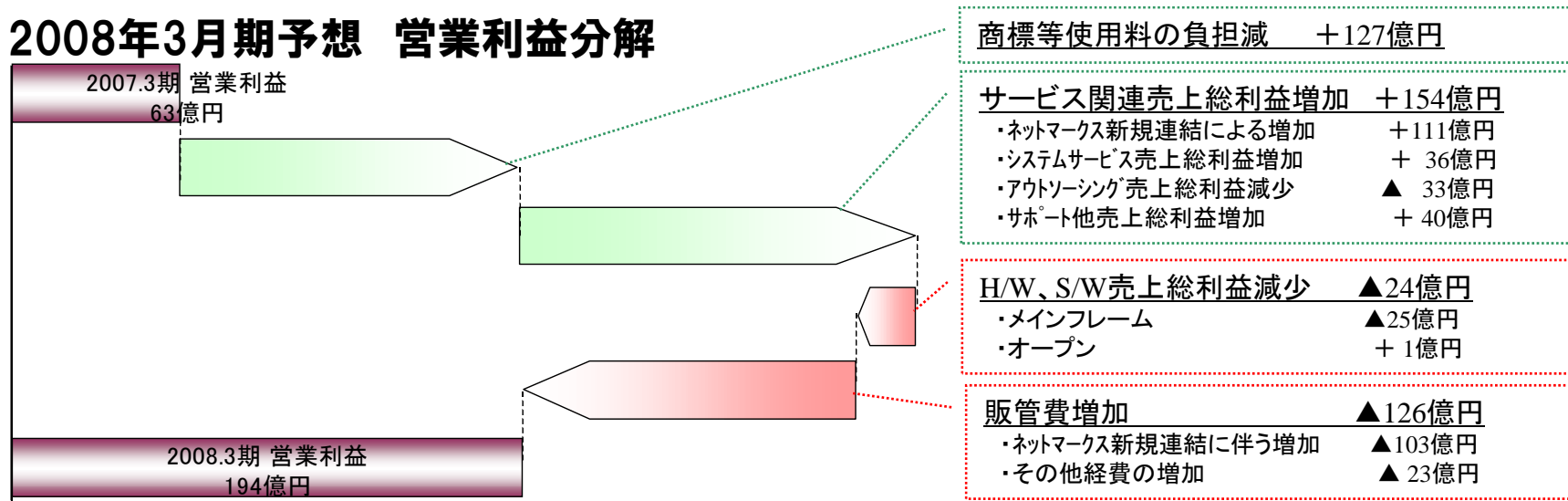
2008年3月期 区分別売上／利益見通し

● 区分別売上／売上総利益比較

(百万円)

売上区分	2007.3期		2008.3期予		増減額	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
サービス	193,178	41,530	253,100	56,900	+59,921	+15,369
ソフトウェア	47,973	15,471	48,000	15,300	+26	▲171
ハードウェア	66,303	18,927	65,700	16,700	▲603	▲2,227
商標使用料		▲12,733		—		+12,733
合計	307,455	63,196	366,800	88,900	+59,344	+25,703

● 2008年3月期予想 営業利益分解



成長計画2007の上期進捗

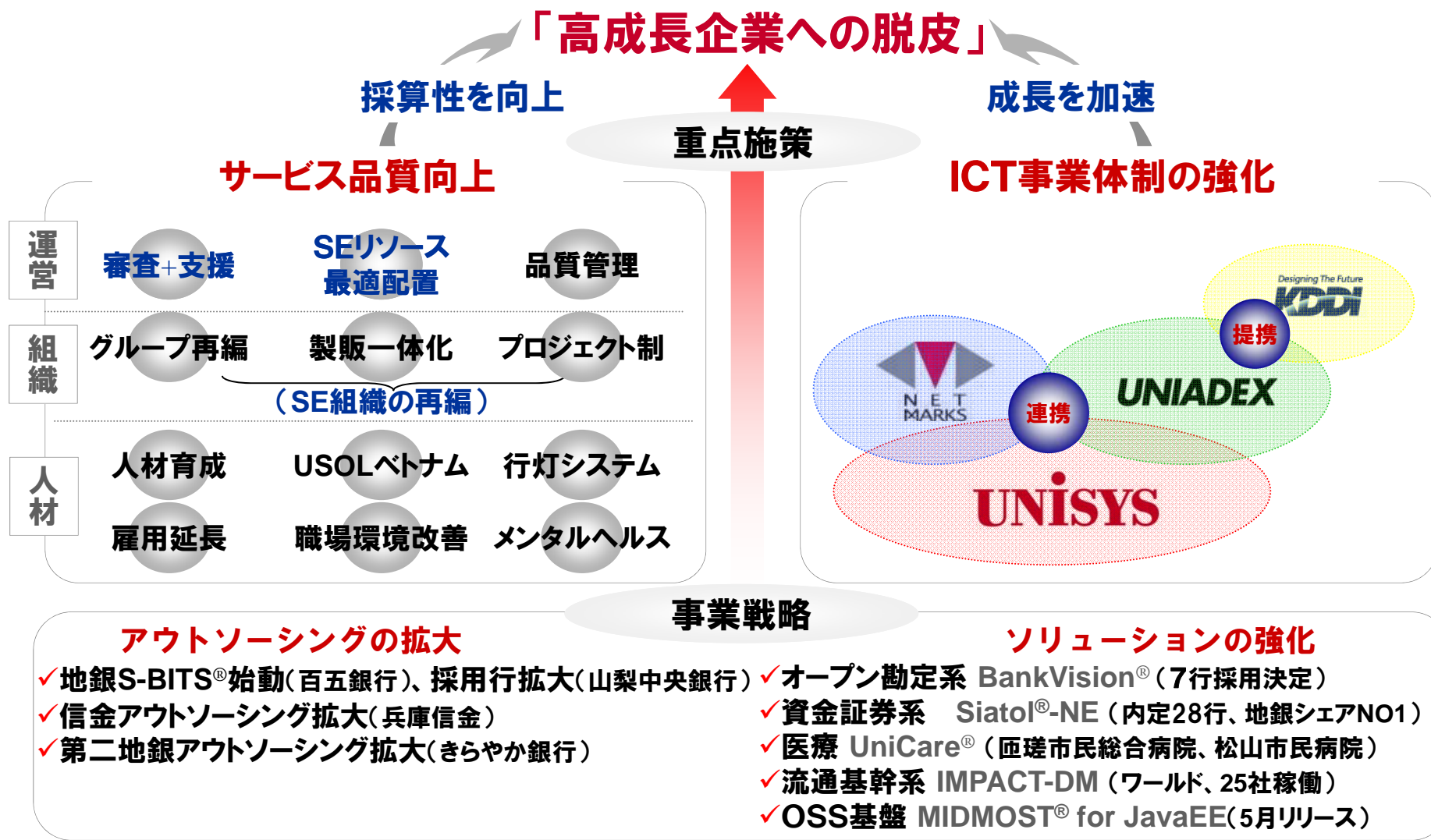
2008年3月期 中間決算説明会

2007年11月7日

日本ユニシス株式会社
代表取締役社長

靱井 勝人

成長計画2007 「高成長企業への脱皮」に向け体制を強化



2つの重点施策

上期の進捗

サービス品質向上

審査+支援

SEリソース
最適配置

SE組織再編

- ✓ 案件審査の徹底により、新規の不採算案件の抑制へ
既存の不採算案件処理を上期に実施。下期以降は大幅な改善見通し
- ✓ 採算性の向上へ
通常ビジネス(不採算を除く)の採算性が大幅に改善

ICT事業体制の強化

ネットマークス連携

- ✓ 保守サービス統合: 部品・システムの共同利用開始、保守要員受入れ
⇒ ユニアデックスによる保守体制統合
- ✓ 内部統制強化: 役員も含む人員を派遣し内部規定の見直しを支援

KDDI・ユニアデックス
提携

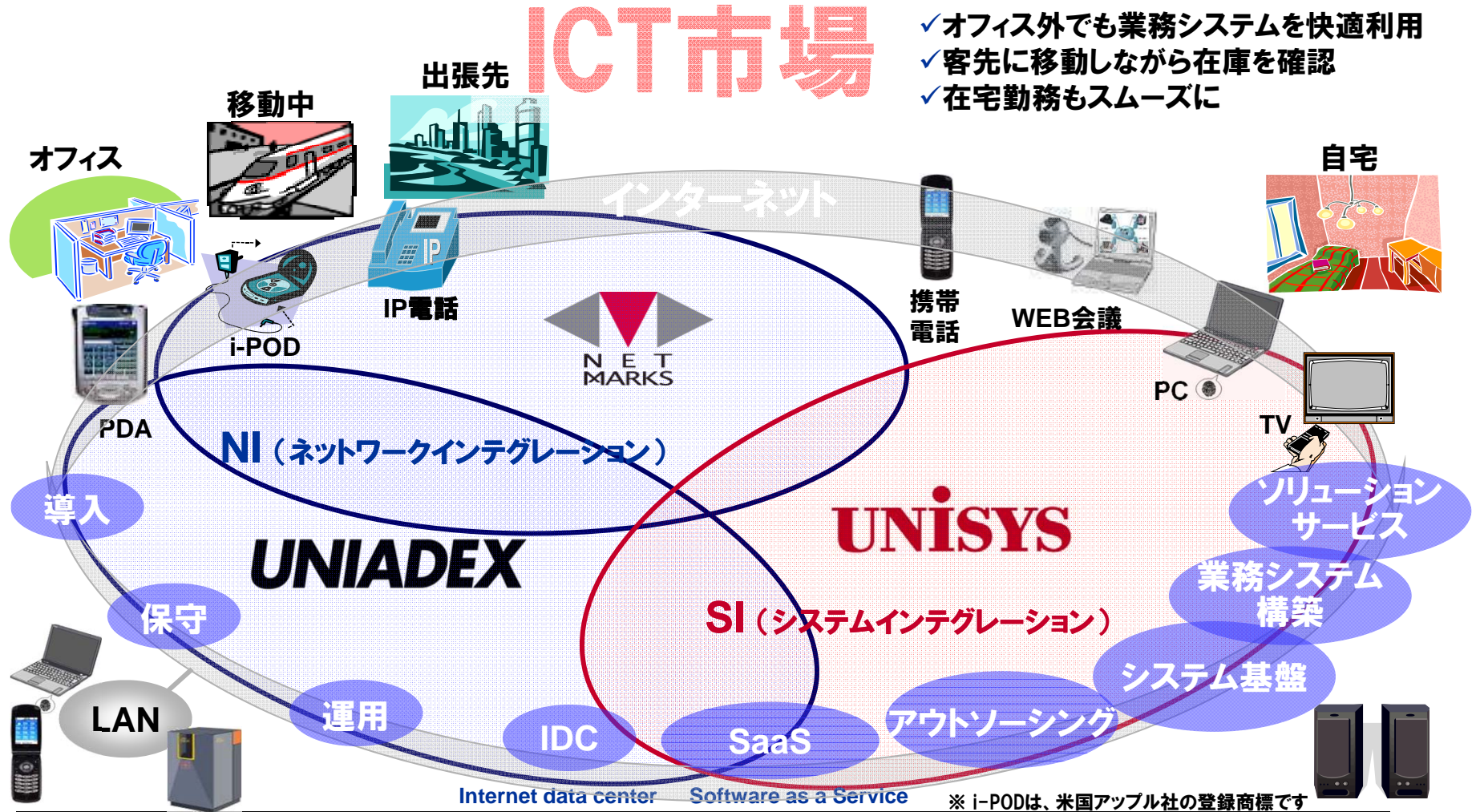
- ✓ KDDIとユニアデックス提携ビジネスの拡大
 - ・ ユニアデックスの技術者43名がKDDIに常駐し、一体となってビジネス開始
 - ・ すでに案件も活発化し、受注につながっている

ICT市場への日本ユニシスグループの取り組み

- ✓ グループ総合力により、シームレスなサービスを提供
- ✓ サービス利用型ビジネスへ注力

たとえば・・・ **いつでも、どこでも**

- ✓ オフィス外でも業務システムを快適利用
- ✓ 客先に移動しながら在庫を確認
- ✓ 在宅勤務もスムーズに



(ご参考)

「SaaS事業参入第一弾」 教育ソリューション分野

- ✓ 実績のある教育ソリューション「RENANDI®」をSaaSで提供
- ✓ 必要な期間、必要なサービスを、最新バージョンで利用可
- ✓ 教育サービスベンダなどにグローバルな学習サービス・プラットフォームを提供



UNISYS

U & U

Users & Unisys

UNISYS

(注)本資料で記述しております業績見通し等の予測数値は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は、本資料における見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。
また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。